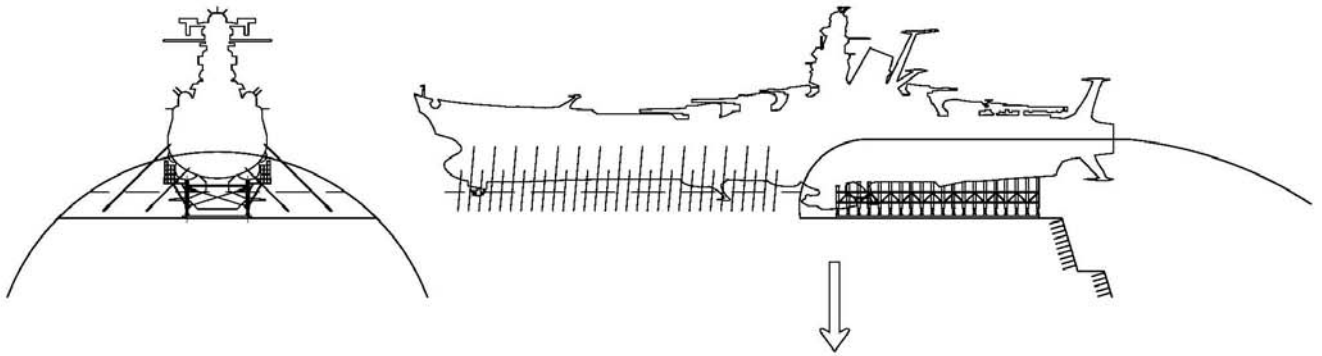


# 【ヤマト発進順序図】

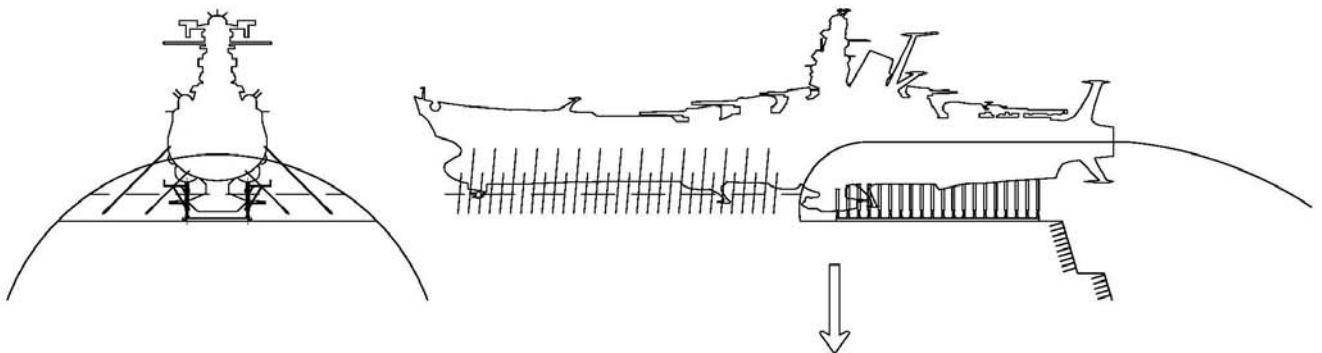
## ①戦艦建造時

戦艦重量を支えるため、『倒壊防止用アンカー』と『組立用支保工』を配置する。  
 戦艦外作業は組立用支保工を利用して作業構台を構築するため、支保工には筋交いならびに  
 繋ぎ材を設けて補強を施す。



## ②戦艦建造完了後

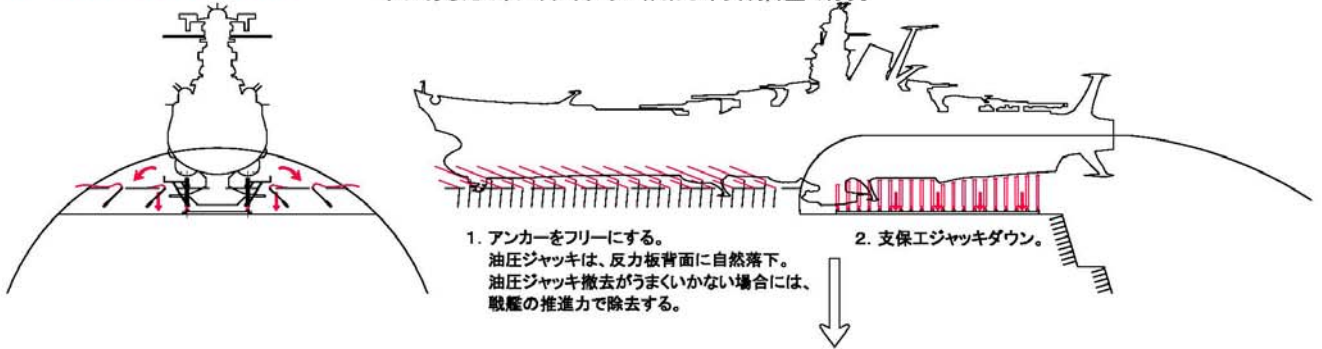
戦艦建造完了後、作業構台→繋ぎ材→筋交いの順に解体する。この時点では、アンカーと支保工によって戦艦重量は支えられたままである。



## ③発進直前(ジャッキダウン)

【艦首の持ち上げの工夫1】  
 全油圧ジャッキ操作は集中管理！  
 アンカー一体は、除去式アンカー採用！

すべての発進準備完了後、アンカーの緊張用油圧ジャッキの圧力を抜く。  
 アンカーの緊張が全て抜けた後、支保工材下部に設置した油圧ジャーナルジャッキの油圧を  
 抜き、ジャッキダウンする。  
 ジャッキダウンのタイミングは、各々の油圧ジャッキを同時に行わなければ戦艦が倒壊する恐  
 れがあるため、ジャッキダウン作業は中央制御室で行う。

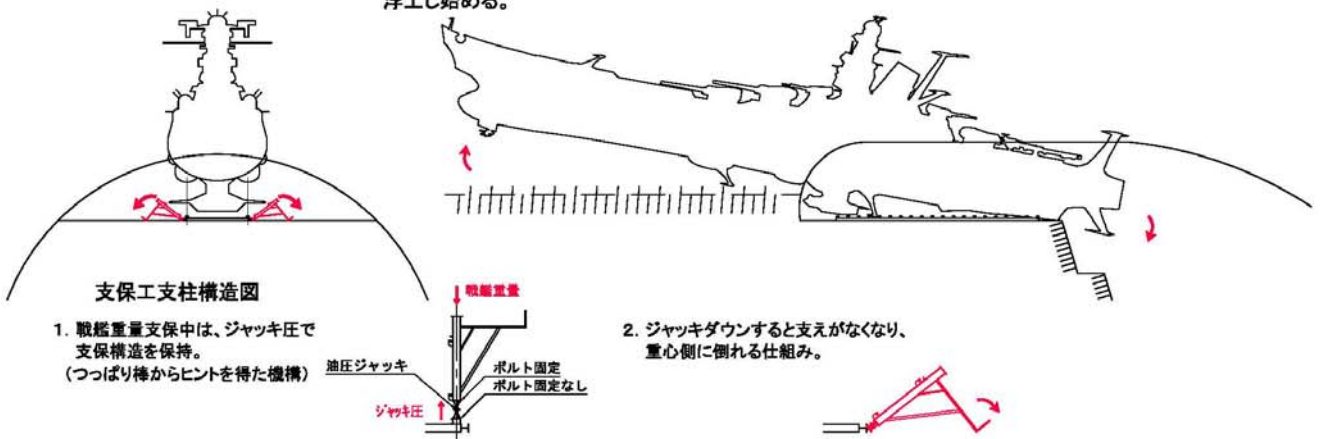


1. アンカーをフリーにする。  
 油圧ジャッキは、反力板背面に自然落下。  
 油圧ジャッキ撤去がうまくいかない場合には、  
 戦艦の推進力で除去する。
2. 支保工ジャッキダウン。

## ④ヤマト発進

【艦首の持ち上げの工夫2】  
 支柱は、重量バランスで自然倒壊する構造！

支保工のジャッキダウンを行うと、船体よりも外側に重量配分された支保鋼材は、バランスを失  
 い、外側に倒壊する構造としておく。  
 艦首側重量を支持していたアンカーがなくなり、艦尾側重量を支持していた支保工がなくなると、  
 戦艦全体重量バランス(前4:後6)によって第3艦橋付近を中心として、自然に艦首は地上側へ  
 浮上し始める。



支保工支柱構造図

1. 戦艦重量支保中は、ジャッキ圧で  
 支保構造を保持。  
 (つっぱり棒からヒントを得た機構)

2. ジャッキダウンすると支えがなくなり、  
 重心側に倒れる仕組み。